



## ペンルアーの選び方

カツオは小さめ3号サイズのルアーが標準ですが、マグロやメジは比較的大きなサイズのルアーに食ってきます。また、大判カツオと呼ばれる5kg～10kgのカツオも大きめのルアーに食ってきます。ルアーのサイズは魚が捕食しているベイト(餌の魚)のサイズに近いほうが釣れますが、少し大きめのルアーには大きめの魚が食ってきます。

ペンルアーはどのルアーも、ヒコーキやラビットで曳いても素引きでもOKです。潜行板にはペンショートやペンカットSがよく使われます。

ペンルアーのヘッドカラーは標準がホログラムパールで、周年安定して釣れます。メキシコやパウア、赤3面等はお好みです。釣れないヘッドカラーは製品化していません。

スカートカラーは、基本色の白に青赤ライン系や、茶系、青銀系の3色が標準でそれがあればほとんど釣れます。マグロには6号サイズまでは茶系6号以上のサイズには青パール系がよく使われます。

ルアーの配置は、カジキルアーと違い、大きなルアーをロングに流します。大きなカツオやマグロはロングのルアーに食ってくる人が多いからです。

### ペンショート 適合スカート:3号を標準に2.5～3.5号 カツオメジ向き

もっとも標準なカツオ、メジルアーです。リーダーは24号～40号で使うことが多く、2～3kgサイズのカツオやメジに有効です。ヒコーキでもラビットでも素引きでもOK。潜行板曳にもよく使われます。

### ペンカットS 適合スカート:3号を標準に2.5～3.5号 カツオメジ向き

ペンショートよりキビキビ泳ぐカツオ、メジルアーです。リーダーは24号～40号で使うことが多く、ペンショートと並べて曳くことが多いです。2～3kgサイズのカツオやメジに有効です。ペンショート同様、ヒコーキでもラビットでも素引きでもOK。潜行板曳にもよく使われます。

### ペンカット 適合スカート:3.5号を標準に3～4.5号 大判カツオ・メジ向き

ペンカットは、5kgを超える大判カツオが良く釣れます。メジにも有効で、リーダーは40号～50号で使いことが多いです。ベイトが大きいときは2kgのカツオでもペンカットにばかり食ってくる場合があります。南の沖縄や九州ではベイトが大きいせいか、このペンカットがカツオやメジの標準ルアーといってもいいくらいです。リーフ回りではイソマグロの50kgサイズがペンカットのリーダーを食いちぎっていきます。ヒコーキでもラビットでも素引きでもOKです。

### ペンロング 適合スカート:3.5号を標準に3～4.5号 大判カツオ・メジ50kgサイズ向き

ペンロングには、2kgのカツオから100kgのクロマグロも150kgのカジキも食ってくる万能ルアーです。カツオで曳いていてもこのペンロングにばかり食ってくることも多い銘品のルアーです。リーダーは最低でも40号、50号60号が標準です。30kg以上を狙う時はフックもカジキ用の8/0や9/0を使います。2kgのカツオもこのフックで釣れます。カツオも群れの中の大きなサイズが食ってきます。ロングにペンロングを流すのがおすすめです。

### ペンバレット 適合スカート:4.5号を標準に4～5.5号 10kg～100kg以上サイズ向き

潮岬の漁師さんの定番ルアーです。大判カツオや10～50kgのトンボ、キハダ、クロマグロに使います。リーダーはマグロには60号標準で40号～80号。ペンバレットは漁師さんが自分で錘を調整して入れるので、ウエイト調整をしていません。4号サイズのスカートと場合は、4匁位の、5号サイズのスカートには8匁くらいのナツメ錘を、フックとルアーの間のリーダーに通して調整してください。ペンバレットの智丸スペシャルは、漁師さんが、漁師仲間でもよく釣れると評判になるように仕立て上げた曳縄プロの御用達のルアーです。センターロングや、リガーロングが定位置です。ヒコーキでもラビットで曳いてください。カジキの155kgも釣れています。